

次期総合計画策定に係る基礎調査等支援業務委託  
候補者選定の手順及び審査の基準

1 選定の手順

(1) 審査委員による企画提案の審査

○各項目の得点（審査委員の評価点に係数を乗じて得た得点）を合計したものを審査点とする。

(2) 委託候補者の選定

○各審査委員の審査点を合計して総合点を算出し、得点の多い順に委託候補者として選定する。

○総合点が同じ点の企画提案応募者がある場合は、審査委員の協議の上、多数決により順位を決定する。

○ただし、次のいずれかに該当する企画提案応募者は順位にかかわらず委託候補者とししない。

・審査委員の2名以上が評価点1点以下とした審査項目が1つ以上ある場合

・審査委員の2名以上が審査点を50点未満とした場合

2 審査基準

項目	審査内容	配点		得点
		評価点 (5点満点)	係数	評価点×係数
<b>1 業務遂行能力</b>				
業務の実施体制	・委託業務を安定的に遂行できる実施体制となっているか。 ・県との協議・修正対応を円滑に行える体制となっているか。	5	2	10
業務実施のスケジュール	・実施スケジュールは妥当か。	5	1	5
類似事業の実績、専門知識等	・過去に地方自治体で類似の業務を実施した経験があり、良好な成果が期待できるか。 ・本業務に必要な専門的知識・ノウハウ等の蓄積があるか。	5	2	10
<b>2 提案内容</b>				
業務目的の理解度	・本事業の目的、業務の内容について十分に理解し、企画されているか。	5	2	10
基礎調査の実施・分析	・現状分析の対象分野、切り口、使用データの選定が適切か。 ・社会・経済・技術・環境等のマクロトレンド、国内外の状況を踏まえた整理・分析の考え方が示されているか。 ・山梨県の状況及び特性を十分に踏まえた分析の視点があるか。	5	2	10
人口・経済・財政・社会保障等に関する長期推計・分析	・長期推計に用いる前提条件の考え方や分析手法、使用データの選定が適切か。 ・人口・経済・財政等の分野間の関係性を踏まえ、将来の社会経済環境の変化も考慮した分析方針となっているか。 ・山梨県の課題と強みの両面を把握する視点があるか。	5	2	10
県民意識調査結果の分析	・県民意識調査をどのように分析・活用するかの方針が適切か。	5	2	10
県の将来像の提案	・基礎調査や推計結果等を踏まえ、将来像をどう整理・分析するかが適切か。 ・人口減少・産業構造・気象変動・国際情勢等、将来シナリオの考え方が示されているか。 ・山梨県の特性を十分に分析し、その強みを活かす視点があるか。	5	2	10
報告書の作成	・次期総合計画への活用を意識した構成・表現となっているか。 ・図表・データの活用により、理解しやすい内容が想定されているか。 ・分析結果や示唆が、政策検討や計画策定に活用されることを想定した形で整理・提示されているか。	5	2	10
特筆すべき提案	・業務目的の達成や次期総合計画の質の向上に資する、有益な提案があるか。	5	2	10
<b>3 価格点</b>				
見積価格	見積価格 5点×応募者中の最低価格／提案者の価格 ※小数点以下第1位で四捨五入	5	1	5
合計				100

各評価項目の評価点（5点満点）は次を目安に評価する。

- ・非常に優れている／非常に期待できる 5点
- ・優れている／期待できる 4点
- ・委託先として望ましい水準 3点
- ・やや劣る／あまり期待できない 2点
- ・要求水準を明らかに満たしていない 1点